

高退協ニュース

「戦争を絶対させない」この思いを胸に刻み

決意を新たに！

高退協会長 倉橋楠雄



倉橋会長

会員の皆様、新年おめでとうございます。まず、皆様がこの一年の健康とご多幸をお祈りし、高退協活動への一層のご協力をお願いいたします。昨年年頭の挨拶で触れましたが、アメリカにトランプ政権が誕生し、この一年、トランプ氏は大方の予想を裏切らず、北朝鮮問題やパリ協定離脱、エルサレム問題など、世界を分断と混乱の渦中に巻き込み世界情勢を不透明なものにしています。

また、我々高退協の会員は、いろいろな場面で社会貢献し活躍しています。それは地域活動、子供食堂やボランティア活動、文化芸術活動、スポーツ交流などで広範囲に渡っています。日展の特選者も出ました(西 緑さん)。元気に頑張る高齢者として町田増美さん(土佐清水市在住男性)は百歳を超えてお元気です。

しかし、新しい光も見えていません。昨年のノーベル平和賞は国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)に贈られました。このICANの尽力で昨夏「核兵器禁止条約」が国連で採択されました。これは、日本の被爆者の地道な活動が世界に評価された結果です。それなのにこの「核兵器禁止条約」に背を向ける日本政府の態度は、

私たちが決してあきらめません。主権者である私たちは一人ひとり「戦争を絶対させない」「憲法9条を守る」この思いを胸に刻み、新しいこの一年を過ごしていきたい。そして格差や貧困を乗り越え、みんなが安心して暮らせる社会の実現を目指して、決意を新たにそれぞれの場で活動に取り組んでいきたいと思います。

日本人として恥ずかしい限りです。国内でも少し新しい光が見えます。昨秋の衆院選では、結果は自公の大勝ということになりましたが、急遽結成された立憲民主党が野党第一党となり、高知二区では、無所属で立った広田一さんが当選。山原さん以来21年ぶりの勝利となりました。今や安倍政権は決して突き崩せない堅牢な城ではないと思えます。そのモリトモ少しずつカケ、音もなく崩れていくように感じます。

芸能祭・文化祭・望年会から

集いから明日への力を

別役美佐



高退協芸能文化祭・望年会

12月9日(土)、

高退協の芸能祭・文化祭・望年会が開かれました。会場となる高知城ホール4階には、絵画・さそり・折り紙・書・短歌・写真等の作品が展示され、文化の香りが漂う空間へと変わっていききました。倉橋会長からは、不安と危うさを煽る今日の情勢の中で、「平和」「命」を守ることに奮闘している高退協の役割をさらに發揮し、来年につなげていくことへの力強い提案がありました。そして、顧問の岡崎清恵さんの張りのある朗々とした詩吟の声を耳に残しながら宴の開始となりました。近況報告をしながら酌み交わす杯、作品の説明を聞きながら交流を深める方々等、懐かしい再会を喜びながらの歓談風景でした。

川村かつ枝さん(ケーナ)達による懐かしい歌の演奏や歌声で会場を大いに盛り上げて下さいました。続いて軽やかなリズムにのって登場するのは、赤いブラウスを身に付けた加藤敏恵さんの「銀座かんかん娘」です。動画撮影もままならぬほど、舞台を右へ左へと移動です。スカートと脇を両手で持つ愛らしい手に思わず見とれてしまいました。舞台裏の衣装替えの早業にも驚かされました。和やかで懐かしい時間の最後は、高退協の歌姫、畑山佳代さんの登場です。つな

がれた手のぬくもりの下に響くは、仲間を勇気づけた歌詞に魅せられる「緑の山河」の力強い歌声です。そして、間髪を入らず声を発するのは井垣正利さんの「エール斉唱」です。参加者は29名でした。なお、会場内に展示した作品の数々は、早速、高知城ホールのロビーで一週間展示されました。次回も、一人でも多くの仲間を誘い合って望年会への参加を呼びかけ、作品を通じての仲間同士の交流にも力を注いでいきたいと思っています。

高退協初歩きと新春交流会のお誘い

日時 2018年1月9日(火)
行き先 筆山・皿ヶ峰・鷲尾山
山登りの後は、三翠園で入浴、交流会です。
日程 9:00 高知城ホール集合
9:30 筆山登山口集合
10:00 筆山公園第2駐車場集合・登山開始
12:00 ~ 13:00 下山・入浴
13:00 ~ 食事・新春交流会
15:00 終了
雨天中止・少雨決行
連絡先 上村 文香 090-1328-3099
小松 茂弘 090-3787-6374

会費納入のお願い

今年度の高退協の会費納入がまだの方は、早急にお願います。

恒例の芸能祭の幕開けはやはりこの方です。踊り手は、井上徳治さん。踊りは、もちろん「シバテン音頭」です。キレのあるコミカルな動き、つま先で踏み鳴らす舞台の音までも、研鑽を重ねた賜物です。将来的には、この芸を継承する後継者を育てていくことも課題となりそうです。続いて登場するのは、KTKR(高



1枚の紙で折った折り鶴

知県高等学校退職教職員協議会)です。このグループは、学習会や地域での演奏活動にも声がかかる売れっ子の音楽グループです。島本聡さん(バイオリン)、渡辺正子さん(マンドリン)、田村昌子さん(ケーナ)、川村かつ枝さん(ケーナ)達による懐かしい歌の演奏や歌声で会場を大いに盛り上げて下さいました。続いて軽やかなリズムにのって登場するのは、赤いブラウスを身に付けた加藤敏恵さんの「銀座かんかん娘」です。動画撮影もままならぬほど、舞台を右へ左へと移動です。スカートと脇を両手で持つ愛らしい手に思わず見とれてしまいました。舞台裏の衣装替えの早業にも驚かされました。和やかで懐かしい時間の最後は、高退協の歌姫、畑山佳代さんの登場です。つな